アルゴリズムとデータ構造III 4回目:10月23日

構文解析 CYK法の続き

授業資料 http://ir.cs.yamanashi.ac.jp/~ysuzuki/algorithm3/index.html

→ 授業の予定(中間試験まで)

1	10/02	スタック(後置記法で書かれた式の計算)
2	10/09	チューリング機械、文脈自由文法
3	10/16	構文解析 CYK法
		構文解析 CYK法
5	10/30	構文解析 CYK法,アーリー法
6	11/06	構文解析,グラフ
7	11/13	グラフ(動的計画法, ダイクストラ法, DPマッチング)
8	11/20	グラフ(DPマッチング, ビームサーチ. A*アルゴリズム)
9	11/27	中間試験

授業の予定(中間試験以降)

10	12/04	全文検索アルゴリズム (simple search, KMP)
11	12/11	全文検索アルゴリズム (BM, Aho-Corasick)
12	12/18	全文検索アルゴリズム (Aho-Corasick), データ 圧縮
13	01/08	暗号(黄金虫, 踊る人形)
		符号化(モールス信号, Zipfの法則, ハフマン符号)テキスト圧縮
14	01/15	テキスト圧縮 (zip), 音声圧縮 (ADPCM, MP3, CELP), 画像圧縮(JPEG)
15	01/29	期末試験



本日のメニュー

- CYK法の続き
- CYKアルゴリズム
- 解析例(急いで走る一郎を見た)
- 練習問題(I eat pizza with Nana.)

■構文解析 CYK法

■ 先週勉強した文脈自由文法により、文から自動 的に構文木を生成する.

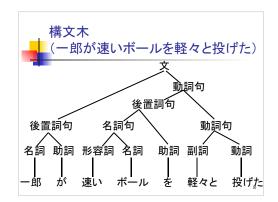


構文解析とは(Wikipediaより)

- ある文章の文法的な関係を説明すること(parse)。計算機科学の世界では、構文解析は字句解析(lexical Analysis)とともに、おもにフログラミング言語などの形式言語の解析に使用される。また、自然言語処理に応用されることもある。
 コンパイラにおいて構文解析を行う機構を**構文解析器** (Parser)と呼ぶ。
 構文解析は入力テキストを通常、木構造のデータ構造に変換し、その後の処理に適し形にする。字句解析によって入力文字列から字句を取り出し、それらを構文解析器の入力として、構文木や抽象構文木のようなデータ構造を生成する。



- 入力文(記号列)が与えられたとき、文法 によってその文を解析し、その構造を明ら
- 代表的な構文解析アルゴリズム
 - CYK法
 - チャート法
 - アーリー法
 - LR法



CYK(Cocke-Younger-Kasami)法

- ボトムアップアルゴリズム
- 扱える文法
 - チョムスキーの標準形
 - A→BC
 - A→a
- CYK表
 - 構文解析の途中経過を保持するための表



CYKアルゴリズム

- チョムスキーの標準形の文脈自由文法を 対象とした構文解析法
- チョムスキーの標準形
 - A→BC (A,B,C∈Vn)
 - A→a (A∈Vn, a∈Vt)

X→aBlはチョムスキーの標準形ではないが X→AB, A→aに分解できる X→ABCはチョムスキーの標準形ではないが X→AY, Y→BCに分解できる

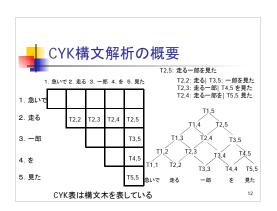
チョムスキーの標準形の例 ▶「急いで走る一郎を見る」

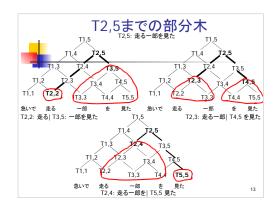
A→BC型 (1) s→pp v

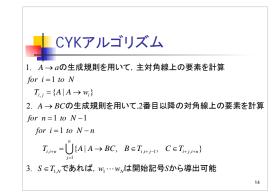
- (9) adv→急いで
- (2) s→adv vp
- (10) n→一郎

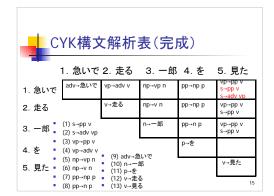
- (3) vp→pp v
- (11) p→を
- (4) vp→adv v
- (12) v→走る ■ (13) v→見る
- (5) np→vp n
- (6) np→v n
- (7) pp→np p
- (8) pp→n p

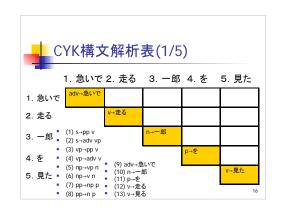
11

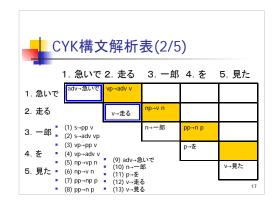


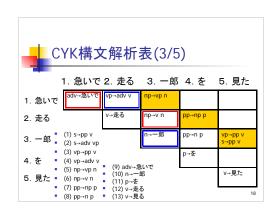


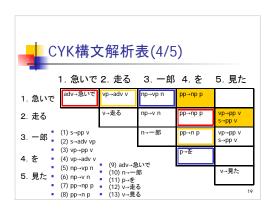


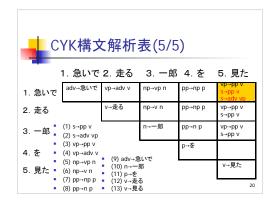




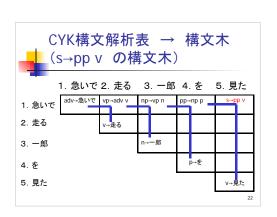


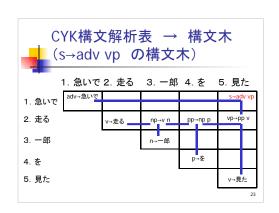


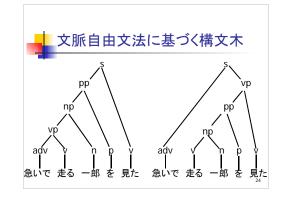


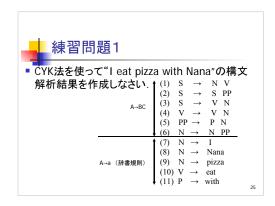


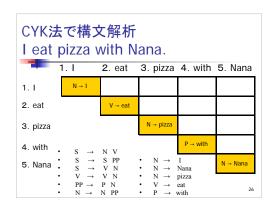


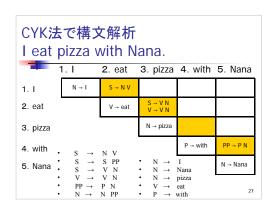


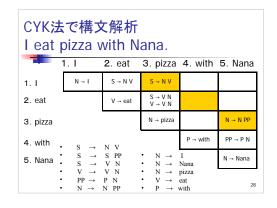


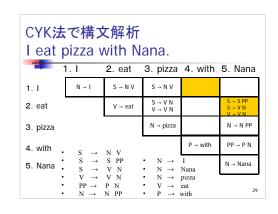


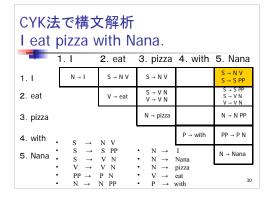


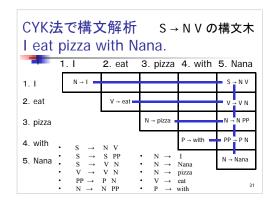


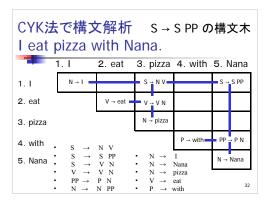


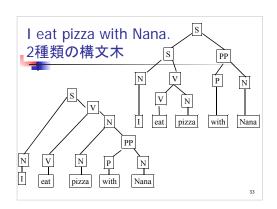


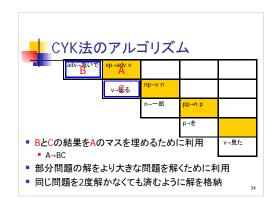


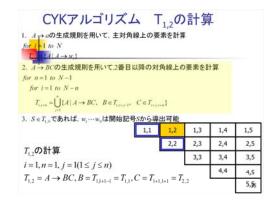


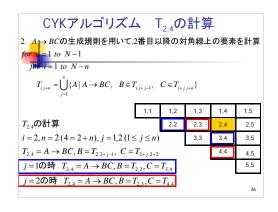






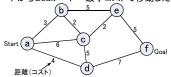






ダイクストラ法(最短経路問題用 アルゴリズム)

■ StartノードからGoalノードへ最小コストで移動したい



- a-e, a-dなどの最短距離をa-fの最短距離を見つけるために利用
- 部分問題の解をより大きな問題を解くために利用同じ問題を2度解かなくても済むように解を格納

動的計画法(Dynamic Programming)



- 部分問題の解をより大きな問題を解くために利用
- 同じ問題を2度解かなくても済むように解を格納
- アルゴリズムの例

 - CYK法(構文解析)ダイクストラ法(最短経路問題)
 - DPマッチング (パターンマッチング DNAの解析にも利用) DPを使った解法(ナップサック問題)

 - ビタビアルゴリズム(音声認識など)

構文解析アルゴリズム



- ボトムアップアルゴリズム
 - 戦略

 - 単語列から出発Sを導出 → 解析終了
 - 代表的なアルゴリズム

 - CYK法 LR法
 - トップダウンアルゴリズム

 - 戦略
 - Sから出発
 目的の単語列を導出 → 解析終了
 - 代表的なアルゴリズム
 - アーリー法(Earley parser)LL法